

作成日: #####

作成者: 原建築設計事務所

確認日: 2006年12月15日

確認者: 事務所 水原 脩

(1) 建物概要

建物名称	(仮称)フレンドマート梅津店新築工	敷地面積	6,136 m ²	外観/バース等 図を貼り付けるときは シートの保護を解除してください
建物用途	物販店	建築面積	2,961 m ²	
建設地	京都府京都市	延床面積	2,995 m ²	
気候区分	地域区分IV	階数	地上2F	
地域・地区	近隣商業地域、第一種住居地域、	構造	S造	
竣工年	2007年5月 予定	平均居住人員	200 人	
		年間使用時間	4,200 時間/年	

(2)-1 環境性能評価結果 (バーチャート)

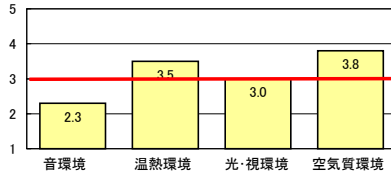
注1

Q 建築物の環境品質・性能 (居住環境のアメニティを向上させる性能評価)

SQ= 3.1

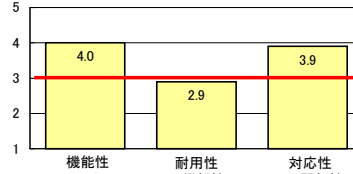
Q-1 室内環境

スコア(評価点): SQ1 = 3.2



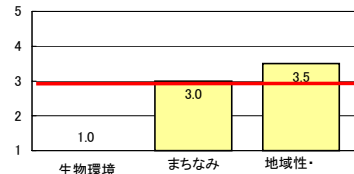
Q-2 サービス性能

SQ2 = 3.6



Q-3 室外環境(敷地内)

SQ3 = 2.5

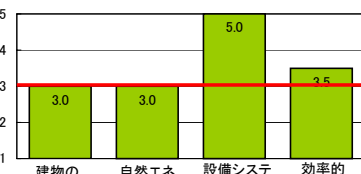


LR 建築物の環境負荷低減性 (環境負荷を低減させる性能評価)

SLR= 3.3

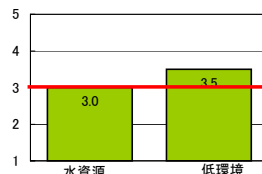
LR-1 エネルギー

スコア(評価点): SLR1 = 3.7



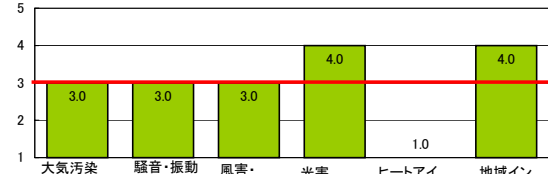
LR-2 資源・マテリアル

SLR2 = 3.4



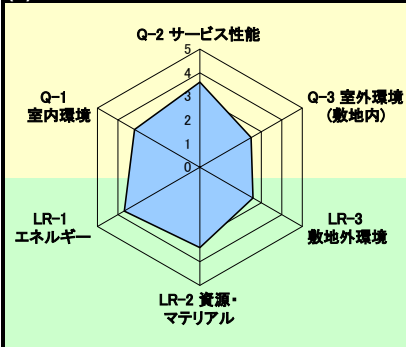
LR-3 敷地外環境

SLR3 = 2.6



(2)-2 環境性能評価結果 (レーダーチャート)

注1



(2)-3 環境性能効率

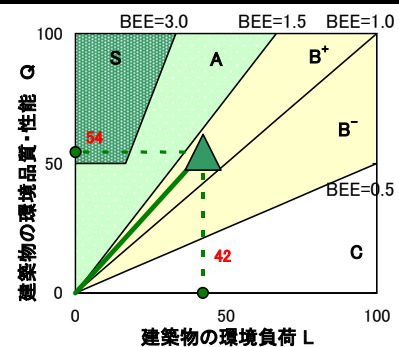
BEE

注2

$$BEE = \frac{\text{建築物の環境品質・性能 } Q}{\text{建築物の環境負荷 } L}$$

$$= \frac{25 \times (SQ - 1)}{25 \times (5 - SLR)}$$

$$= \frac{54.2}{42.3} = 1.2$$



(3) 建築物の総合的な環境性能とは別枠の重要評価項目

注3

(3)-1 建築物の代表的な環境負荷に関する定量的な評価指標

<実施設計段階、竣工段階で詳細な評価を行う場合に記入>

	年間延床面積あたり指標	人・時間あたり指標	年間延床面積あたり削減量	削減率 %	
運用エネルギー消費量	MJ/年m ²	MJ/人時	MJ/年m ²		
運用CO ₂ 排出量	kg-CO ₂ /年m ²	kg-CO ₂ /人時	kg-CO ₂ /年m ²		
水消費量	m ³ /年m ²	m ³ /人時	m ³ /年m ²		
LCCO ₂ 排出量	kg-CO ₂ /年m ²	kg-CO ₂ /人時	kg-CO ₂ /年m ²		
LC廃棄物量	t/年m ²	t/人時	t/年m ²		
LC資源消費量	t/年m ²	t/人時	t/年m ²		

(3)-2 デザインプロセスの評価

設計段階	建設段階
有資格者による設計	環境管理計画